

「長浜・御豊瀬・浦戸」の地域おこしだより

新里海かわら版

VOL.

2



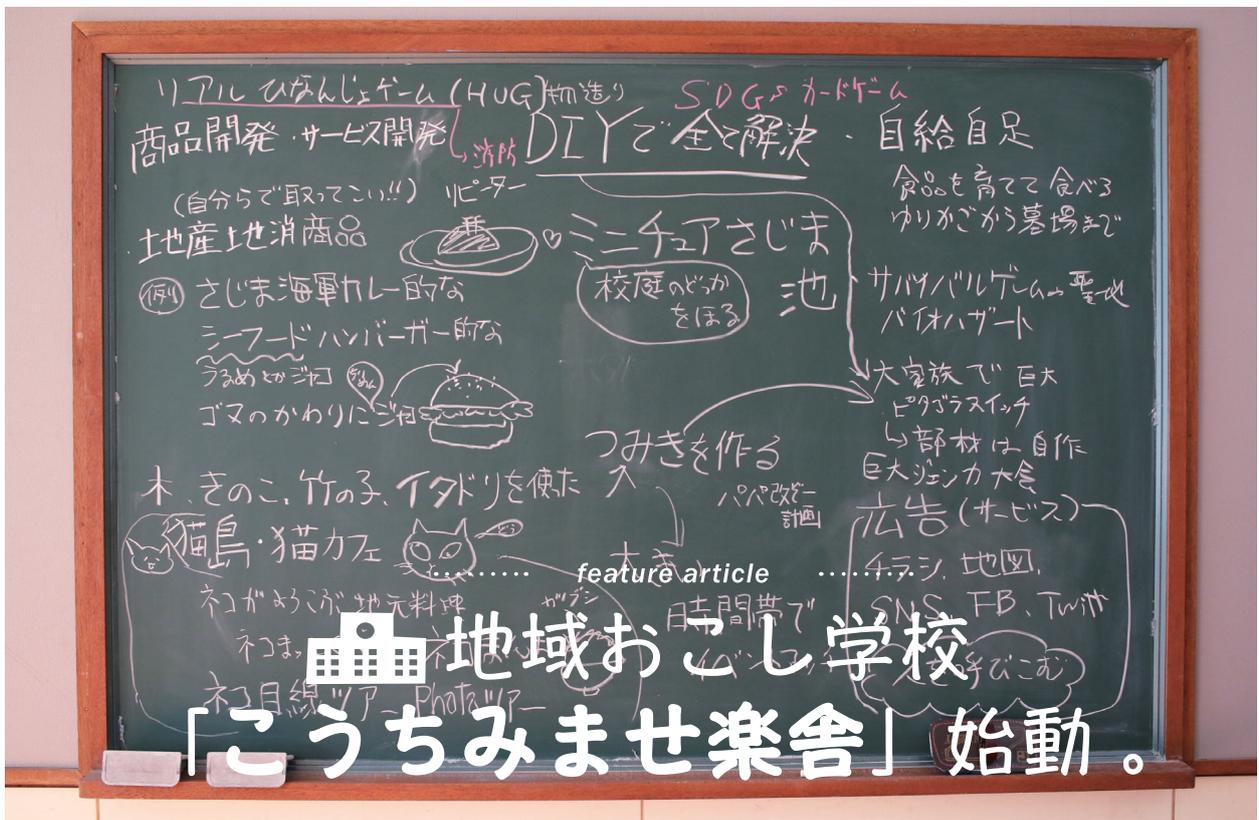
特集

地域おこし学校「こうちみませ楽舎」始動。



がくしゃ
こうちみませ楽舎

旧御豊瀬小学校の校舎を再び活用し、地域おこしやまちづくりについて、みんなで楽しく学び、生まれたアイデアを形にする「学び」と「実践」の学校です。(写真は御豊瀬地区でのフィールドワークの様子。)



▲ 廃校再生プロジェクトで受講生が黒板に描いたアイデア。

こうちみませ楽舎は 目からウロコを落とす だけの場所じゃない。

楽舎は新しい化学 反応が起る場所

東京の大手出版社で働き、2012年に東京から高知市へ移住した黒笹慈幾さん。自他ともに認める大の釣り好き人間で、漫画『釣りバカ日誌』の主人公・浜ちゃんのモデルにもなるほど。高知市を移住先に選んだ理由は、「もちろん、高知は釣りの女神に選ばれた土地だから」。

そんな黒笹さんは、令和2年10月24日から旧御豊瀬小学校でスタートした地域おこし学校「こうちみませ楽舎」の校長を務めています。

今年度のプレ開校では、廃校再生と地域再生の2つのプロジェクト教室に、長浜・御豊瀬・浦戸地域内外から47名の受講生が参加し、地域おこしのための様々なアイデアを出し合っています。

そんなこうちみませ楽舎の魅力を、黒笹校長にお聞きしました。

「世界を放浪して、たどり着いた先は御豊瀬だった」という知人がいます。浦戸湾にはよく釣りに行っていました。御豊瀬っていう地名は今まで聞いたことがなくて、「どんな字を書くの?」って尋ねたら

「御豊瀬」って。歴史のある面白い地名だなあと思った記憶があります。

東京から来た「よそ者」の視点で言うと、長浜・御豊瀬・浦戸地域は未利用の資源がたくさんある素晴らしい。カチカチをしている。でも、残念なことにそれがうまく使われていない。こうちみませ楽舎は、そんな資源にスポットを当てて、ぎっぴりして欲しいと思います。

プレ開校では、地域以外からの参加者も半分くらいいます。「地元のことを変えたい」と「地域外から役に立ちたい」がうまく繋がることで、強力なエンジンとなり、そこで化学反応が起るんです。

普通なら出会わない人と人が出会い、交流し、そして新たな可能性を生む。それを考えるとワクワクしますね。

新しい発見で目からウロコを落として終わりじゃなくて、落とした後に何をするかを一緒に考えていきたいですね。



(上) 地域内外から集まった受講生の皆さん(開校式)。(下) 玄関先でお出迎えるウエルカムボード。

黒笹慈幾さん ▶ 1950年、東京生まれ。小学館入社。2012年に高知市へ移住。南国生活技術研究所代表。

廃校再生プロジェクト

ゆるくつながる仲間を増やし、小さな成功経験を。



NPO 法人土佐山アカデミー
事務局長 吉富 慎作さん

Q この地域の印象は？

「一昨年の座談会で「新しく面白く許容できる地域」と感じました。例えば「花海道沿いの墓地では、長い距離の肝試しができますね」と言ったとき、怒られるかな...と思いきや、皆さん笑ってくれました。

Q こうちみませ楽舎はどんな場所？

地域にきつかけをつくる場所。もちろん楽舎以外にもいろんなことが起こってほしいけれど、ここに来れば個人ではできないことができ、仲間ができて、小さな成功を経験できる。そんな場所になりたいです。

Q 楽舎の参加者の印象は？



開校式で語られた参加理由が皆さん熱くて。これは絶対に成功する、成功させなきゃ、と思いましたが、そのためには「ゆるく」つながって欲しいですね。いろんな価値観や関わり方を認め合えたら、ゆるく仲間が増えていくと思うんですよ。

よさこい節でも唄われてるってすごくない!?

いろんな人と交流できて楽しそう!

みんなが楽しく集まれる場所になるといいな!



北岡さん (御豊瀬)



占部さん (瀬戸南町)



佐藤さん (長浜)

令和2年度のテーマは「**廃校と地域**」の再生。



詳しくはホームページから

地域再生プロジェクト

新しい発見と気づき、楽しさをカタチに。



(株)宮地観光サービス
ツーリズムコーディネーター
近澤 真弓さん

Q 授業の感想は？

これまで観光関係者などに一緒に商品づくりをしてきましたが、一般の方への講座は初めてで難しさを感じています。でも、楽舎には世代や職種も違う幅広い人たちが集まっていて、20人いれば20通り以上の意見が出てくる面白さがあります。

Q 観光商品づくりに大事なことは？



地域を歩いてみて、新しい発見や気づきがあったと思います。商品づくりってそこから始まるんです。

Q こうちみませ楽舎への期待は？

よ。「食へ歩きが楽しかった」という意見もありましたが、私はその「楽しい」から商品にすることが多いですね。つくる側が楽しいとお客様にも楽しさが伝わりますから。

参加者や地域の方、いろんな人を巻き込んで前に進んでいます。共感してくれる仲間集めの場となり、それが課外活動に発展すればさらに面白くなると思います。楽舎の活動を知って関わってくれる地元の方も増えればいいですね。

母校と恩師にご恩返しをしたいんです!

たくさんの人に遊びに来てもらえる場所にしたいな!

歴史大好き。ガイドならお任せを!



森澤さん (土佐市)



松田さん (浦戸)



黒瀬さん (徳島市)

ユリとマルシエのイベント 「こじゃんと！ゆり海道」開催



さとうみ編集室

濃厚な香りを漂わせ、すらりとした茎に大きく花開く「ユリ」。印象的で華やかなユリは、発表会や展示会、開店時の祝い、冠婚葬祭など、豪華なアレンジに欠かせない花材となっています。

実は、高知県はユリの作付面積が全国2位という、知る人ぞ知る「ユリ大国」。そして高知市は、県内でも土佐市に次ぐ生産量となっており、日照時間が長く温暖な生産条件に恵まれた長浜地区でも、全国に誇る高

品質のユリが多く栽培されています。新型コロナウイルス感染症が拡大する中、家で過ごす時間が増えています。そんな日々の暮らしを少しでも明るく彩り、癒しを感じていただくために、地域資源の一つであるユリをテーマにイベントを開催します。

当日は、フラワーアレンジメント教室や長浜・御畳瀬・浦戸の各地区をイメージしたユリ展示のほか、テイクアウトマルシエも開催。お誘い合わせの上、ぜひお越しください。

INFORMATION

ユリの豆知識

語り手：(株)中村農園
中村 慶吾さん

日本で自生するユリは15品種くらいで、初夏から夏にかけて野山で見かけることができます。近年は品種改良が進み、1990年にはオランダ産のユリ球根が輸入自由化され、多種多様なユリが市場で取り引きされるようになりました。



品種改良されたユリは、日本での栽培に適しているか、どうすればきれいに花を咲かせられるか試験栽培されます。安定的な生産ができるようになるには、なんと10年くらいかかるんですよ。

Q ユリの花を長く楽しむコツは？

ユリは一般的な花より花もちがいいので、長く楽しむことができます。ただし、暑い場所は早く咲き進むため、涼しい場所に飾っていただく方がいいですね。水替えは週に1回くらいで大丈夫！花粉が苦手な方は、花粉のない品種もありますので、気軽にユリの花を楽しんでいただければと思います。



八重咲きのユリも人気の品種

こじゃんと！ ゆり海道

2021.2.28日

時間▶10時～15時 (小雨決行)

鎮守の森公園 若宮八幡宮参道 (駐車場あり)

イベント内容 ※一部変更となる場合があります。

- フラワーアレンジメント教室 [事前予約制]
午前・午後の各部1回開催/参加費500円/
高校生以下対象/定員120人
- 長浜・御畳瀬・浦戸の各地区をイメージしたユリ展示
- 地元産のユリ即売会
- ユリのパネル展示
- こども作品展
- 飲食店(テイクアウト)、雑貨の販売 ほか



※新型コロナウイルス感染症予防のため、会場内での予防対策にご協力をお願いします。



イベント情報など、詳しくは地域活性推進課のホームページをご覧ください。▶



市川詠弥さん



谷口ちささん

■初めまして。広報ボランティアの市川^{つたや}詠弥です。長浜・御畳瀬・浦戸地域の魅力をたくさんの人に知ってもらいたいと思い、参加しました。最初の活動として、こうちみませ楽舎に取材で参加しましたが、思ったよりも参加者が多くて、地域を盛り上げたいという熱意を持った人がたくさんいたことに驚きました。この活動が地域の魅力を知ってもらおうきっかけになればいいなと思いました。これから頑張って活動していきます。

■初めまして！広報ボランティアの谷口と申します。現在は埼玉県で暮らしています。3年前から母校・浦戸小学校でキャリア教育に携わっていました。今年、県をまたいだ移動が困難に…。そんな折に母から送られてきた「新・里海かわら版」の第1号にボランティア募集記事がありました。「大好きなこの地域に関わり続けたい」、そんな思いで参加しています。この活動を通じて地域の魅力を発信していけたらと思います。皆様、どうぞよろしくお願いします！